

Reality (現場)

と

Imaginary (仮想)

を繋ぐ

AR (Augmented Reality) とは

他者やコンピュータの持つ情報を重ね合わせて、利用者の目の前にある現実を拡張・強化する技術です。

- ! 技術者の育成に時間がかかる
- ! ヒューマンエラーをなくしたい
- ! 分厚いマニュアルはもうたくさん
- ! システムってもっと簡単に扱えるようにならないの？



位置情報



ARマーカ



ビーコン



ARでの解決策

- リファレンス : 構造物、設備の劣化状況を現物とリファレンス写真で比較する
- 現場情報共有 : 前回作業時の気付きや引継ぎ事項、ヒヤリハット情報をポップアップ
- 操作性向上 : 直感的な操作で必要な図面や過去点検記録を呼び出せる
- 手順指示 : 状況に応じた適切なガイダンス表示 (図形、文字、写真) で標準化や確実な作業のアシスト
- 可視化 : センサー取得情報やグラフ表示などのコンピュータ生成情報による判断支援
- 作業教育 : 360°パノラマでシーンを構成、勘所をコンテンツ化し、追体験型のリアルな教材を構成できる